

式辞

厳しい冬の寒さに耐えてきた木々の蕾がほころびはじめ、春の息吹を感じる今日の良き日、ここに、大阪府立貝塚南高等学校第49回卒業証書授与式を挙行了しましたところ、公私ともご多用にも関わりませず、貝塚市長様をはじめとするご来賓の皆様方、保護者の皆様方、関係者の皆様方のご臨席を賜り盛大に挙行できますこと感謝に耐えないところであります。高いところからではございますが学校を代表して心から厚くお礼申し上げます。保護者のみなさま本日ここに、204名の卒業生を送り出すことができました。卒業生はもとより私ども教職員にとっても大きな喜びであります。

お子様が、本校で高校生活を過ごす間、国内外の諸情勢や自然環境が大きく変貌する中、いかなる時もお子様を励まし、慈しみ、育てられました。多くの喜び、又、有り余るエネルギーゆえに親としてのご苦労も多々おありになったことと存じます。ここに身を結び、お子様は高等教育を終え、他者を思いやることのできる人格者へと立派に成長されました。保護者の皆さまに敬意を表すとともに、この間、本校の教育に対しご理解とご支援賜りましたこと心から御礼申し上げます。卒業後も引き続き、貝塚南高等学校を温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

さて、49期生のみなさん、卒業おめでとうでございます。期待と不安を抱きながら本校に入学していただいた日から3年、教育の情報化等、周囲の情勢の変転が激しい中、それぞれの夢や目標、可能性を追究し、真摯に学んでいただきました。兄弟や祖父母のケアをして家族を支えてきた人、友人関係で心通わず深く沈んだ日、惜別の情、多くの挑戦、喜びや失敗、これらの経験が確実にみなさんを成長させました。特に、49期生のみなさんには気安く【お声かけいただきました】また、新たな企画であるミニ文化祭への参加のため校長室で苦手分野にも挑戦させていただきました。事前のアポイントや来室いただいた際の礼節を重んじた振る舞いが大変好印象で社会的自立を感じました。自立とはだれかを助けたり、助けられたり、人とつながって成長しあうことです。総じて、深い繋がりを感じる49期生の皆さんでした。年を重ねるごとのみなさんの成長に生きる力をいただきました。ありがとうございます。心から感謝します。自己への信頼を胸に未来への歩みを始めて下さい。同時に、日夜問わず無償の愛情を持って支えてくださったご家族、関係者のみなさん、寄り添い教え続けた先生方へ感謝の意を忘れないで下さい。慶びの日にあたり饞（はなむけ）の言葉としてお話ししたいことはたくさんありますが2点に絞りお伝えします。一つ目は【人間力】についてです。価値観の変容で、旧態依然な知識や前例が通用しない世の中です。更に、2026年には、読解力や数学的思考力において、AIが人間を上回るとの予測があります。現実に対して知識と技能を応用することや異なる価値観をもった人と積極的に関わり主体的に学び続けて下さい。特に、AIでは代替え困難な、人と人の細やかで豊かな関係性を大切にし、周囲に優しく思いやりを分け与えることのできる人間性に磨きをかけて下さい。デジタルに対する基本的な知識や技能と共に、より人柄のよさが問われる時代であるように思います。二つ目は【共に生きること、共生について】です。すべての人の生きる目的は幸福の実現にあると私は思います。49期生のみなさんには本校のスクールミッションの骨子である、Well-beingな学校づくりに貢献いただきました。短期的な私の幸福だけにとどまらない将来にわたって持続する私たちの幸福の実現です。この理念はグローバルに浸透することを願っています。寒空に希望を失いかけている人々、空爆の恐怖に怯えている人々にも思いを馳せる等、他人事を自分事として捉え、寄り添うことのできる強くて優しい人として人生を歩んでください。みなさんには自分のこと、他者のこと、地球のこと、未来のことを深く考え地域や国際社会に貢献していただくことを期待いたします。それでは、49期生のみなさんの益々のご健勝並びに発展、ご臨席賜りました皆様方のご多幸を祈念申し上げ、式辞と致します。

令和7年2月28日

大阪府立貝塚南高等学校長 藤田 繁也